人を想い、産業をつなぐ

2027年3月期 第2四半期
決算補足説明資料

西華産業株式会社

東証プライム市場 証券コード8061

事業概要

【グループ会社:全31社 国内外拠点数:151拠点】

	主な取扱製品	親会社・連結子会社	持分法適用関連会社
エネルギー事業	火力・原子力・再エネ等 エネルギー発電関連設備 等	西華産業	名南共同エネルギー TVE 日本フェンオール
産業機械事業	機能性素材・食品飲料等生産設備、 自動化・省人化関連機器、 プラント機器 等	西華産業 Seika Sangyo GmbH SEIKA MACHINERY, INC. 西曄貿易(上海)有限公司 台湾西華産業股份有限公司 SEIKA SANGYO (VIETNAM) Seika Sangyo (Thailand) 旭サナック　…2025年12月1日子会社化	
プロダクト事業	水中ポンプ、産業用・工業用バルブ、 船舶用エンジン、 半導体関連・特殊計測関連製品 等 	西華産業 Tsurumi (Europe) グループ 日本ダイヤバルブ グループ セイカダイヤエンジン 敷島機器 西華デジタルイメージ 田中造船	エステック テンフィートライト

© SEIKA CORPORATION

CONTENTS

1. 決算サマリー

2. 2027年3月期第2四半期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

© SEIKA CORPORATION

CONTENTS

1. 決算サマリー

2. 2027年3月期第2四半期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

© SEIKA CORPORATION

決算サマリー

売上高*	営業利益	受注高	受注残高	配当予想
2026/3 2Q 518.3億円	2026/3 2Q 32.6億円	2026/3 2Q 574.0億円	2026/3 2Q 723.3億円	2026/3 81.66円
2027/3 2Q 575.5億円 +11.0%	2027/3 2Q 52.1億円 +59.7%	2027/3 2Q 718.7億円 +25.2%	2027/3 2Q 911.5億円 +26.0%	2027/3 116.00円 +34.34円

*エネルギー事業におけるMHI代理店事業
（受託取引）はネット手数料のみ計上

- **売上高** 575.5億円（前年同期比 +57.2億円）
- **営業利益** 52.1億円（前年同期比 +19.4億円）
- **中間純利益** 45.3億円（前年同期比 +14.1億円）
  エネルギー事業および主要子会社の好調な業績推移により大幅に増収増益
- **受注残高** 911.5億円（前年同期比 +188.2億円）
- **配当予想** 116.00円（前期配当81.66円）
  前回発表の105円から116円へ増配

© SEIKA CORPORATION

決算サマリー（上方修正および増配）

通期予想

エネルギー事業および連結子会社の好調な業績により、通期の各指標において前回予想を上回る見込みとなり業績予想を上方修正

	前回発表予想		修正予想		増減率
売上高	1,280	億円	1,300	億円	+1.6%
営業利益	105	億円	110	億円	+4.8%
経常利益	110	億円	115	億円	+4.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	84	億円	92	億円	+9.5%
1株当たり当期純利益	232.49	円	259.67	円	—

配当予想

連結配当性向45%を目途として安定的な配当をするという基本方針と、上記の業績予想修正を踏まえ当期の1株当たり期末配当予想を前回発表の59円から11円増配の70円に修正

前回発表予想	修正予想
105.00 円	116.00 円
（中間46円/期末59円）	（中間46円/**期末70円**）

© SEIKA CORPORATION

CONTENTS

1. 決算サマリー

2. 2027年3月期第2四半期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

© SEIKA CORPORATION

2027年3月期第2四半期 連結決算概要

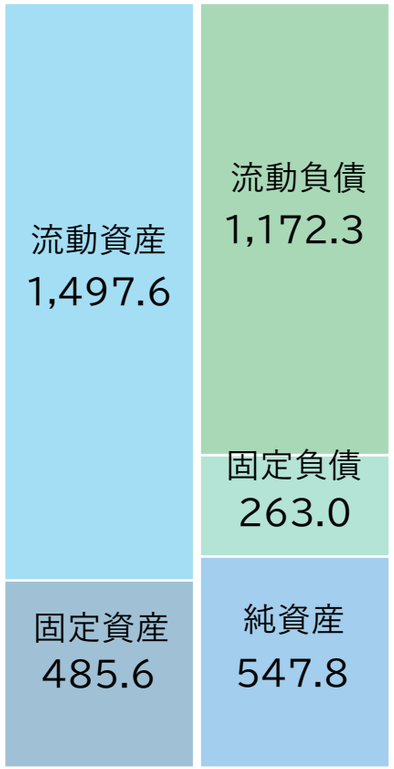
	2026/3 2Q 実績	2027/3 2Q 実績	増減
取扱高	1,325.5 億円	1,485.2 億円	+12.1 %
売上高	518.3 億円	575.5 億円	+11.0 %
営業利益	32.6 億円	52.1 億円	+59.7 %
経常利益	37.6 億円	54.7 億円	+45.5 %
親会社株主に帰属する中間純利益	31.2 億円	45.3 億円	+45.4 %
受注高	574.0 億円	718.7 億円	+25.2 %
受注残高	723.3 億円	911.5 億円	+26.0 %

© SEIKA CORPORATION

連結バランスシート

2026/3末

総資産 1,983.2億円　負債合計 1,435.4億円

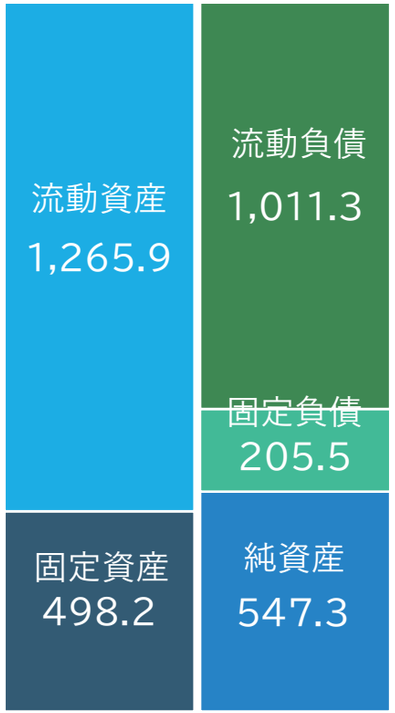


自己資本比率 **27.3%**

長期発行体格付 **A-**（JCR）

2027/3 2Q

総資産 1,764.1億円　負債合計 1,216.8億円



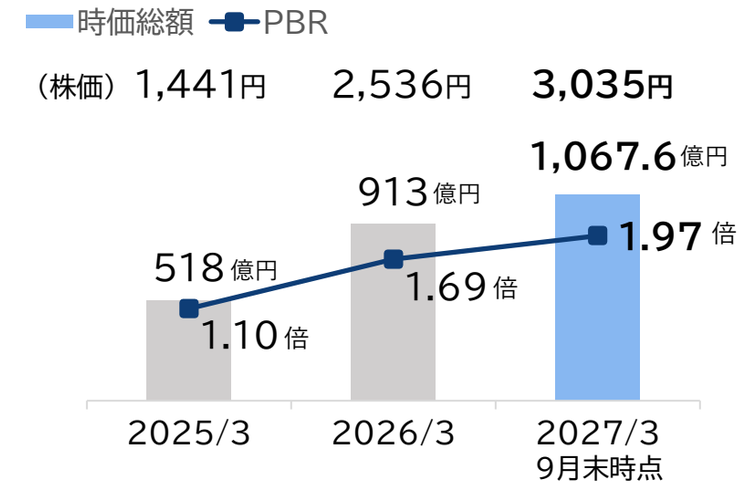
自己資本比率 **30.7%**

長期発行体格付 **A-維持**（JCR）

純資産（億円）	2025/3	2026/3	2027/3 2Q
	476.6	547.8	**547.3**

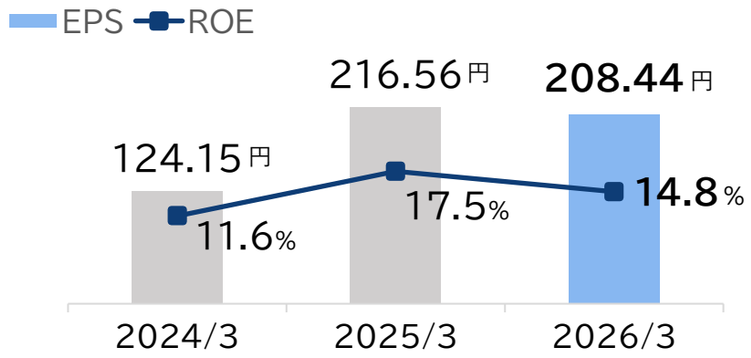
※2025年12月1日に行われた旭サナックとの企業結合に係る会計処理の確定に伴い、
前期数値は遡及適用後の数値を掲載しています

時価総額およびPBR



※時価総額は自己株式を含めない数値で算出しております

EPSおよびROE



※2025年10月1日を効力日とした、普通株式1株につき3株の割合の株式分割
実施に伴い、当該株式分割調整後の期末株価とEPSを記載しています

© SEIKA CORPORATION

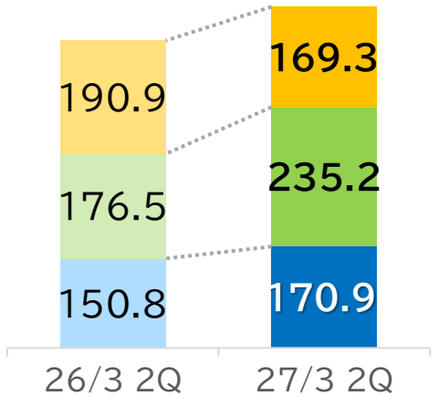
2027年3月期第2四半期
セグメント別概況

© SEIKA CORPORATION

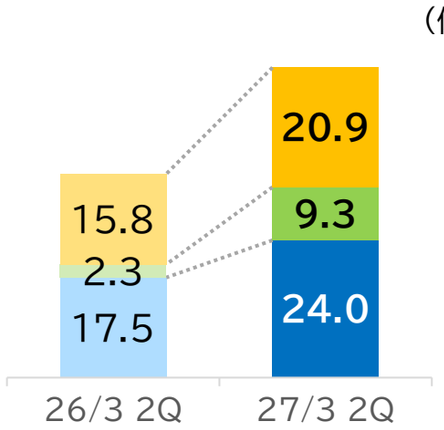
セグメント別概況

（億円）

	売上高			セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）		
	26/3 2Q 実績	27/3 2Q 実績	増減	26/3 2Q 実績	27/3 2Q 実績	増減
エネルギー事業	190.9	**169.3**	▲11.3%	15.8	**20.9**	+31.6%
産業機械事業	176.5	**235.2**	+33.3%	2.3	**9.3**	-
プロダクト事業	150.8	**170.9**	+13.3%	17.5	**24.0**	+36.9%
合計	518.3	**575.5**	+11.0%	35.7	**54.3**	+51.8%



（億円）



エネルギー事業

前期に比べ**火力発電の補機類の受渡しが減少**したことなどにより減収。
西日本における原子力発電所向け定期修繕工事や、火力発電所向け発電設備建設工事および主要設備更新の大型案件の受渡しを計上したことなどにより増益。

産業機械事業

当社単体における前期の大型案件の受渡しの反動がある一方で、**2025年12月に連結子会社化した旭サナックの業績が好調に推移**したことで増収増益。

プロダクト事業

Tsurumi（Europe）グループやセイカダイヤエンジン等の連結子会社各社の業績が好調に推移したことで増収増益。

© SEIKA CORPORATION

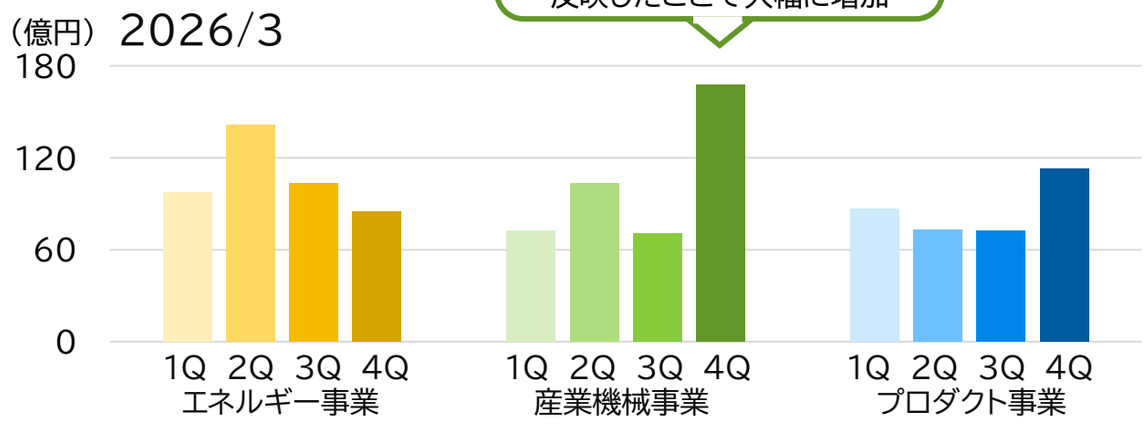
セグメント別　受注高の四半期推移

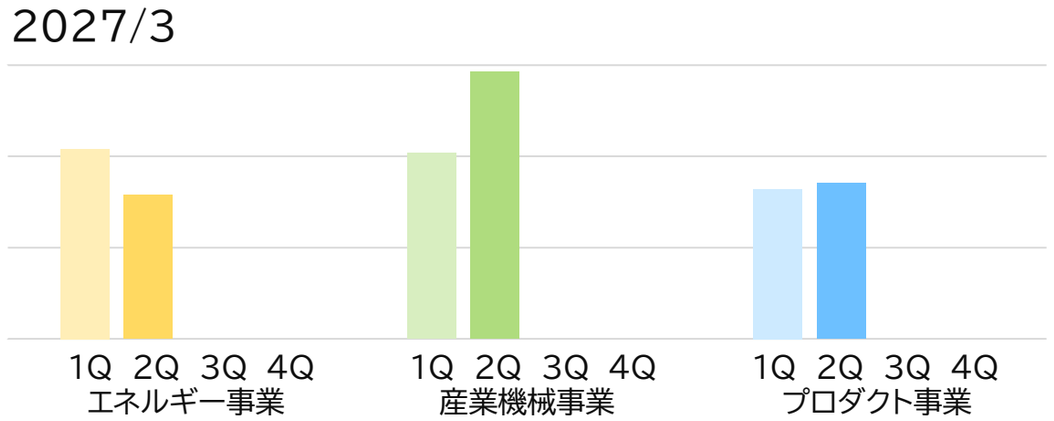
（億円）

・エネルギー事業は前期に原子力発電所向け周辺設備のまとまった受注があったことから前年同期比で減少
・産業機械事業、プロダクト事業は前年同期を上回る水準で推移

	2026/3					2027/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
エネルギー事業	97.6	141.6	103.2	84.7	427.2	124.9	94.7			
産業機械事業	72.1	103.2	70.6	167.4	413.5	122.1	175.8			
プロダクト事業	86.4	72.9	72.3	113.1	344.8	98.5	102.4			
合計	256.2	317.8	246.2	365.2	1,185.6	345.6	373.0			

旭サナック子会社化（2025年12月1日）により、同社の受注残高を4Qに反映したことで大幅に増加



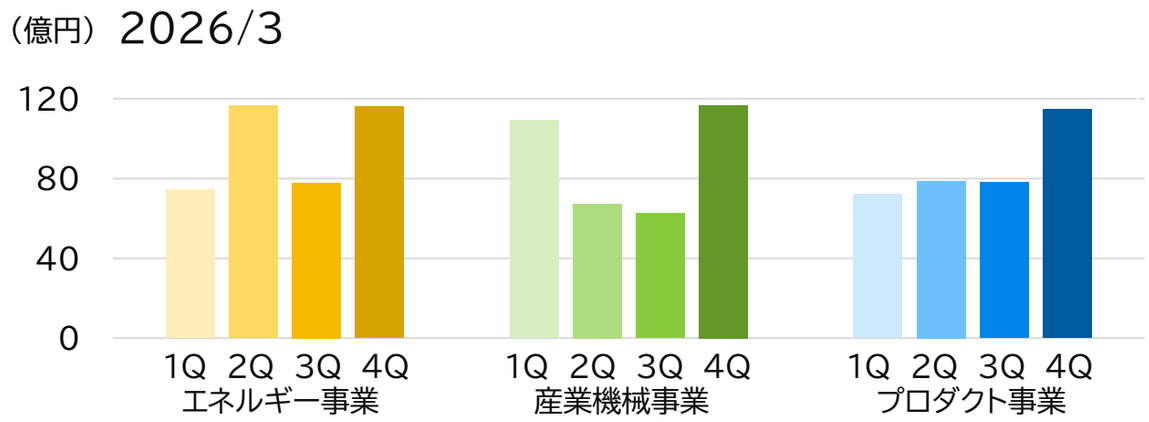


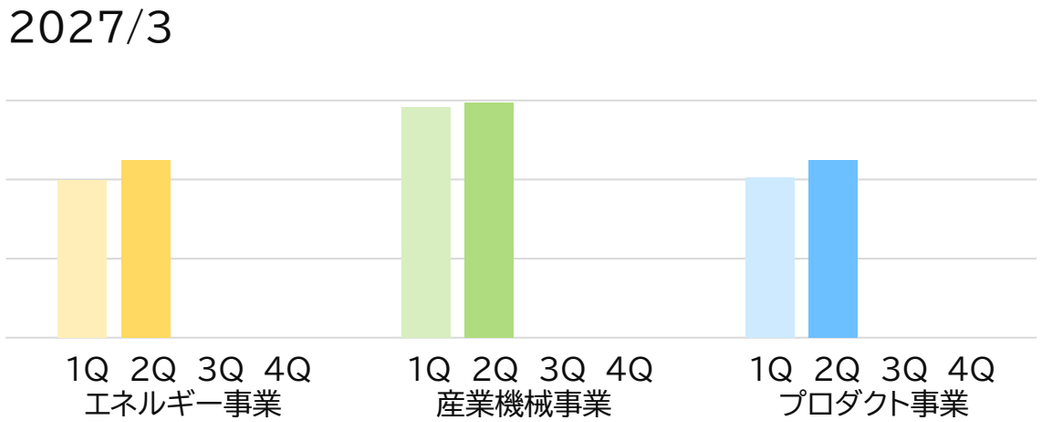
セグメント別　売上高の四半期推移

（億円）

・エネルギー事業は、火力発電向け補機類の受渡しが減少したことなどにより前年同期比で減少
・産業機械事業、プロダクト事業は前年同期を上回る水準で推移

	2026/3					2027/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
エネルギー事業	74.4	116.4	77.9	115.9	384.9	79.6	89.7			
産業機械事業	109.1	67.3	62.6	116.7	355.9	116.5	118.7			
プロダクト事業	72.0	78.8	78.2	114.7	343.9	81.2	89.7			
合計	255.6	262.6	218.9	347.5	1,084.8	277.3	298.2			



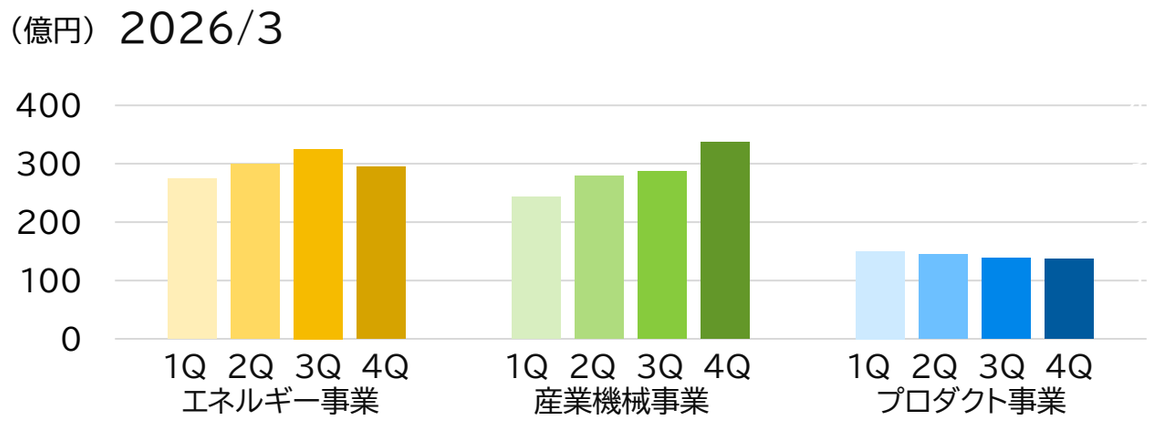


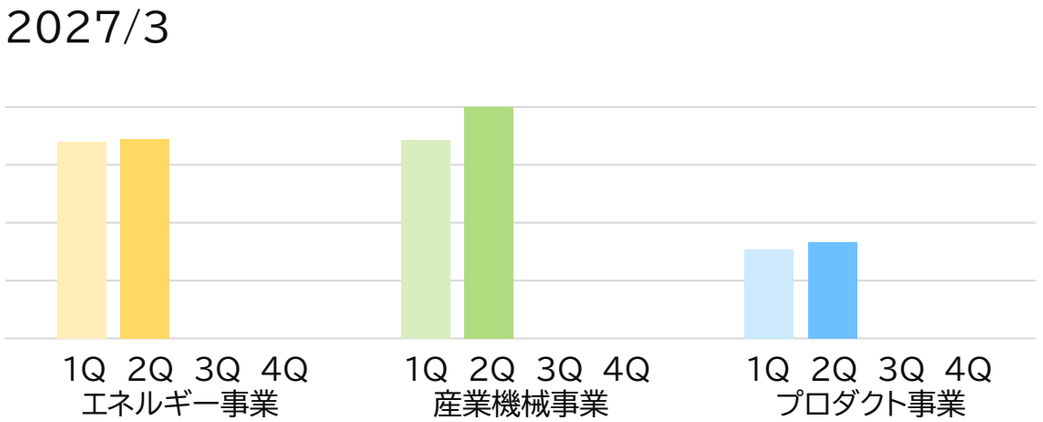
セグメント別　受注残高の四半期推移

（億円）

・各セグメントにおいて引き続き増加基調を維持

	2026/3				2027/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エネルギー事業	274.8	300.0	325.2	294.0	339.3	344.4		
産業機械事業	243.0	279.0	287.0	337.6	343.3	400.4		
プロダクト事業	150.1	144.2	138.3	136.6	153.9	166.6		
合計	668.1	723.3	750.6	768.4	836.7	911.5		





セグメント別 利益・資産・負債

（億円）		エネルギー事業	産業機械事業	プロダクト事業	合計	調整額	連結財務諸表計上額
セグメント利益（※1）	26/3 2Q	15.8	2.3	17.5	35.7	▲0.07	35.7
	27/3 2Q	20.9	9.3	24.0	54.3	0.4	54.7
	増減額	+5.0	+7.0	+6.4	+18.5	+0.5	+19.0
セグメント資産（※2）	26/3 2Q	569.3	137.3	223.3	930.0	288.8	1,218.8
	27/3 2Q	838.1	369.0	248.1	1,455.3	308.8	1,764.1
	増減額	+268.7	+231.6	+24.8	+525.3	+19.9	+545.3
セグメント負債（※2）	26/3 2Q	467.2	86.0	65.1	618.3	104.9	723.2
	27/3 2Q	715.4	104.5	66.1	886.2	330.6	1,216.8
	増減額	+248.2	+18.5	+1.0	+267.8	+225.6	+493.5
投下資本	26/3 2Q	102.1	51.3	158.1	311.6		
	27/3 2Q	122.6	264.4	182.0	569.1		
	増減額	+20.4	+213.1	+23.8	+257.4		
投下資本利益率	26/3 2Q	15.6%	4.5%	11.1%	11.5%		
	27/3 2Q	17.1%	3.5%	13.2%	9.5%		

※1）セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を調整した金額を反映

※2）2026年3月期においては、セグメント利益・セグメント資産のみ開示
2027年3月期よりセグメント利益・セグメント資産・セグメント負債を併せて開示することとしており、新しい開示方法に組み替えた数値を記載

© SEIKA CORPORATION

主要連結子会社の状況①

Product Business

Tsurumi (Europe) グループ

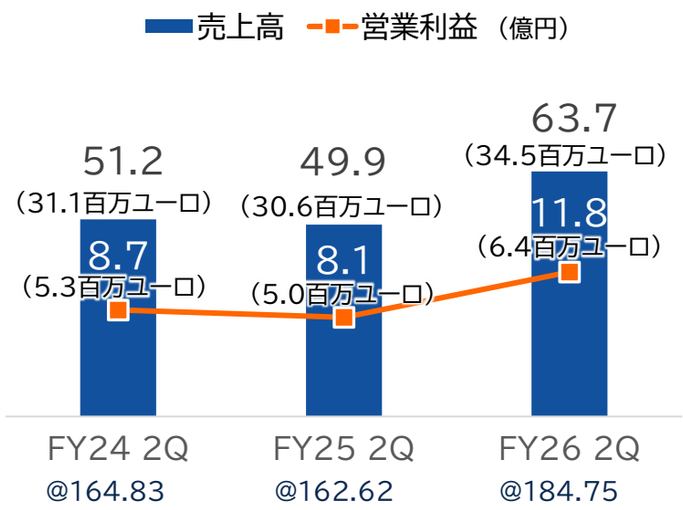
建設工事用水中ポンプを販売

・本社所在地のドイツをハブとして欧州全域に事業展開し、各国に代理店を設置した独自の販売ネットワークを有する

・公共事業のインフラ工事や鉱山等で使用され、特に建設工事用では高いシェアを誇る

・販売だけでなくレンタルも行うなど地域性に柔軟に対応

・欧州の倉庫会社に多くの在庫を保有しており、緊急の需要にも迅速に対応可能



- 前年同期比で増収増益（売上高+27.8%、営業利益+45.5%）
- 鉱山やトンネル工事向けのポンプ受渡が増加
- 北欧、東欧、トルコ向け取引が増加

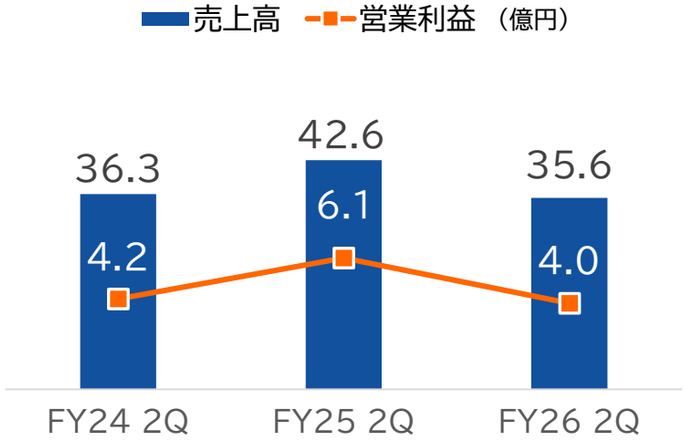
NDV 日本ダイヤバルブ グループ

工業用バルブの製造、販売

・医薬、食品、化学、半導体、原子力発電所、製鉄所等の産業用プラントや上下水道、シールド工事などインフラ整備分野および環境に配慮した脱炭素関連工事において幅広く提供

・日本・アジア市場を中心に販売展開

・主力の「ダイヤフラム弁」は国内トップシェア



- 前年同期比で受注残が大きく減少したなか、短納期案件の取り込みで売上減少を最小限に留めた
- 受注高は、半導体関連の機能性化学分野を中心に好調を維持し、過去最高の半期40億円超えとなった

© SEIKA CORPORATION

主要連結子会社の状況②

Product Business

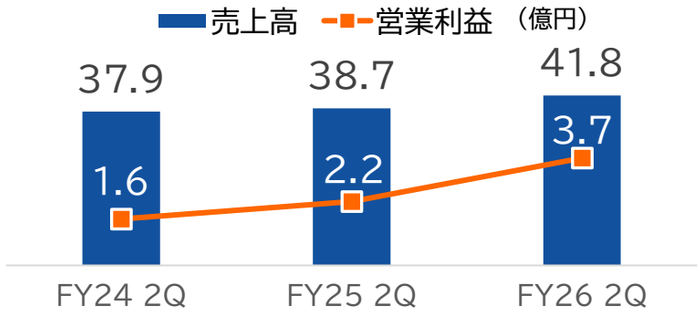
Industrial Machinery Business

SDE セイカダイヤエンジン

MHI製の舶用エンジンの販売・サービス

・国内の漁船および商工船向けに、三菱舶用ディーゼルエンジンの販売・保守サービスを展開

・主な取扱製品は、舶用ディーゼルエンジン(主機・補機)、舟艇および部品・関連機器



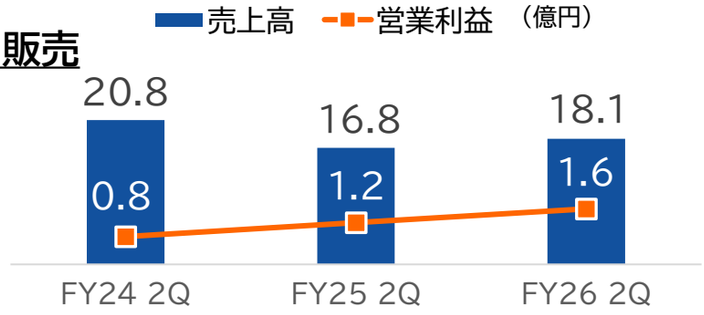
- 中東情勢に起因するオイル・資材不足の長期化懸念を背景に、オーバーホール・メンテナンスの前倒し需要が一時的に増加し、売上を押し上げた
- 一方、造船資材の供給不足は概ね解消しており、当期売上への影響は軽微にとどまる見込み

敷島機器

北海道一円でMHI製舶用・産業用エンジンを販売

・MHIETの北海道地区販売代理店として、道内一円に漁船・船舶ならびに産業用エンジンの販売・サービスメンテナンスを10拠点で展開

・三菱製船用/産業用エンジンほか製品の販売、据付・修理・保守サービス事業を行う



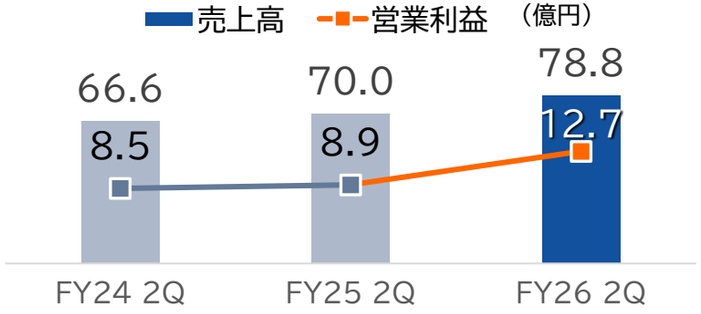
- 3期連続で増益達成
- 基礎収益を担う舶用事業は、道内の漁業関係者の高齢化、漁獲量の減少など海洋資源をめぐる環境変化に対応しつつ安定的な収益を維持
- 成長分野の産業機械事業は、データセンター向け非常用発電装置の旺盛な需要を背景に業績を牽引

旭サナック

塗装機械事業、圧造機械事業、ニューコンポーネント(NC)事業

・塗装事業は自動車向けだが、当社の取引先など他業界への拡大を期待

・ナフサ価格の高騰に伴うシンナー価格の上昇等を受け、液体塗装から粉体塗装への設備転換ニーズが拡大



※FY24,FY25は決算月変更前の2Q(6～11月)実績

- 新型静電ガン等新製品の受注・引合が増加し好調
- 海外の展示会にて新型圧造機のライブ配信を実施。技術的な評価を受け新規案件獲得。
- 再生ウエハ向けスプレー洗浄装置やペロブスカイト太陽電池の成膜装置他新分野の引き合いが増加

© SEIKA CORPORATION

CONTENTS

1.決算サマリー

2.2027年3月期第2四半期 連結決算概要

3.2027年3月期 連結業績予想

4.株主還元

© SEIKA CORPORATION

2027年3月期　連結業績予想

	2026/3 実績	2027/3 前回発表予想	2027/3 修正予想	前期実績比 増減
売上高	1,084.8 億円	1,280 億円	1,300 億円	+19.8%
営業利益	※1 80.2 億円	105 億円	110 億円	+37.0%
経常利益	90.3 億円	110 億円	115 億円	+27.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	75.0 億円	84 億円	92 億円	+22.6%
1株当たり当期純利益	208.44 円	232.49 円	259.67 円	-
年間配当	※2 81.66 円	105 円	116 円	+34.34円
		（中間46円/期末59円）	（中間46円/期末70円）	

※1　2025年12月1日に行われた旭サナックとの企業結合に係る会計処理の確定に伴い、前期数値は遡及適用後の数値を掲載しています
※2 2025年10月1日を効力日とした、普通株式1株につき3株の割合の株式分割実施に伴い、当該株式分割調整後の年間配当を記載しています

© SEIKA CORPORATION

2027年3月期　セグメント別連結業績予想

前期(2026年3月期)より、持分法適用関連会社の損益を考慮し、セグメント利益を従来の営業利益から営業利益に持分法による投資損益を調整した金額に変更

（億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）			
	2026/3	2027/3		前期実績比増減額	2026/3	2027/3		前期実績比増減額
	実績	前回発表	修正予想		実績	前回発表	修正予想	
エネルギー事業	384.9	420	425	+40.1	40.1	47	51	+10.9
産業機械事業	355.9	490	505	+149.1	1.4	16	17	+15.6
プロダクト事業	343.9	370	370	+26.1	44.5	47	47	+2.5
合計	1,084.8	1,280	1,300	+215.3	※86.0	110	115	+29.0

※　2025年12月1日に行われた旭サナックとの企業結合に係る会計処理の確定に伴い、前期数値は遡及適用後の数値を掲載しています

© SEIKA CORPORATION

長期経営ビジョンにおける営業利益目標達成イメージ

2026年3月期 実績
80.2億円 ※
期首予想
66億円
オーガニック事業の
成長 年6%

2027年3月期 目標
（中期経営計画最終年度）
110億円
前回発表予想
105億円
上方修正
オーガニック事業の
成長 年6%

2031年3月期
長期経営ビジョン到達目標
~~120~~億円
前倒し達成を目指す
ノン・オーガニック事業
への取り組み
オーガニック事業の
成長



目標数値をアップデートし
2027年3月までに発表予定

新たな収益基盤の構築や事業の形成

- ✓ 健全なB/Sを活用し、財務レバレッジによる事業投資（日本格付研究所による長期発行体格付「A-」維持）
- ✓ 飛び地ではなく、旭サナックのように知見のある取引先や分野への投資

既存事業の収益基盤強化

- ✓ TVEや日本フェンオールのように営業シナジーがある取引先を対象に、更に補完的M&Aを進めていき**収益の幹を太くする**（持分利益+営業シナジー利益を狙う）
- ✓ エネルギー事業に限らず、産業機械事業・プロダクト事業に関わる分野も対象となる

中期経営計画『VIORB2030 Phase1』 長期経営ビジョン『VIORB 2030』

※ 2025年12月1日に行われた旭サナックとの企業結合に係る会計処理の確定に伴い、前期数値は遡及適用後の数値を掲載しています

© SEIKA CORPORATION

CONTENTS

1. 決算サマリー

2. 2027年3月期第2四半期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

© SEIKA CORPORATION

株主還元-自己株式の取得

取得理由

- 資本効率の改善
- 株主への利益還元
- 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行

取得方法	市場買付け
取得対象株式の種類	当社普通株式
取得期間	2026年5月14日～2026年8月31日
取得しうる株式の総数	1,050,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.89%
株式の取得価額の総額	30億円（上限）

取得実績

取得した株式の総数
988,200株

取得価額総額
29億9,978万2,400円
※株式の取得価額が上限に達したため終了

株主還元-還元方針変更

従来

総還元性向45%目途

2027年3月期 中間配当より適用

連結配当性向45%目途

（予想）
年間配当 116円
配当性向 44.7%

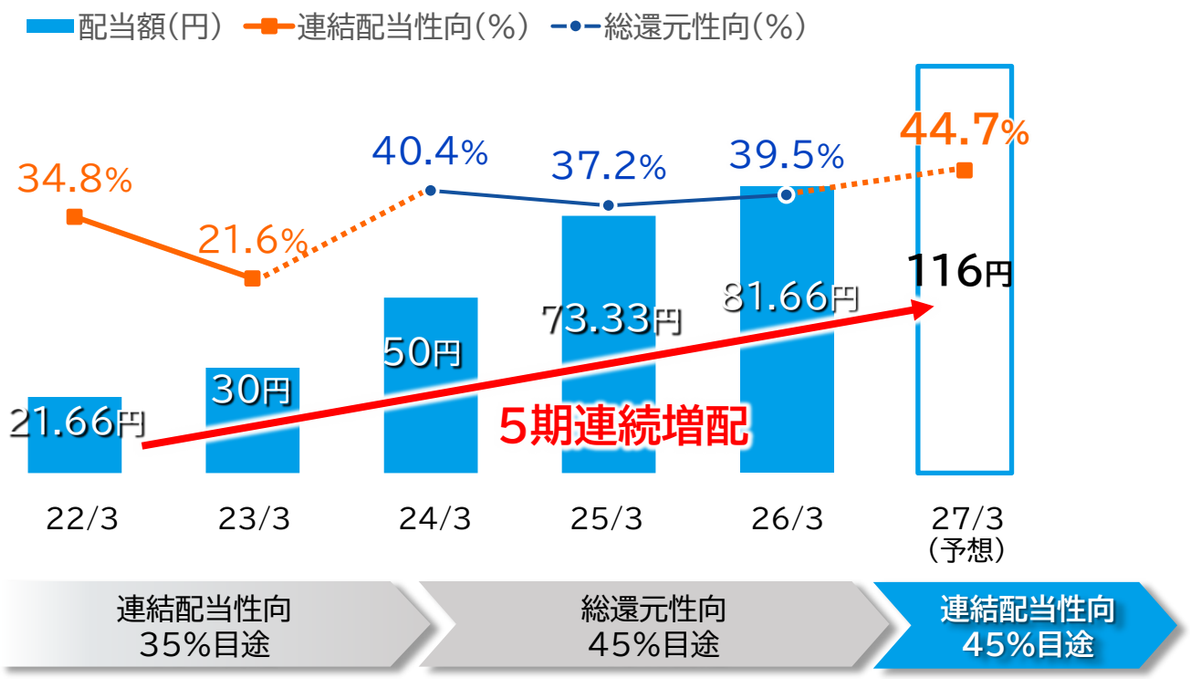
変更理由：

戦略的事業投資を通じて基礎収益力が向上した
現在の状況を踏まえ、今後は事業収益を元とする
配当を中心に据えた株主還元方針に変更

- ✓ 事業開発などの資金需要に柔軟に対応しながら**継続的かつ安定的な配当を実施**
- ✓ **自己株式取得**については、取り巻く経営環境の変化に応じて**適時適切に実施**していく

配当金の推移

※2025年10月1日を効力日とした普通株式1株につき3株の割合の株式分割実施に伴い、当該株式分割調整後の配当金額を記載しています



本資料に関するお問い合わせ先

西華産業株式会社　企画部

TEL:03-5221-7117

E-mail:ssc-ir@jp.seika.com

将来の予測に関する注意事項:

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

詳しい情報をご覧になりたい方はこちら

IRサイト

https://www.seika.com/ir/

統合報告書 2026

https://www.seika.com/ir/library/integrated-report/

IRメール配信サービス

https://www.seika.com/ir/mail/

SSC　人を想い、産業をつなぐ